

道路交通円滑化対策の総括

令和 7 年11月25日

道路交通円滑化対策の総括

- 「道路交通のモニタリング・分析・予測」、及び「必要とされる追加的対策」の実施により、道路混雑の緩和に寄与し、円滑な来場者輸送に貢献
- 「大阪市道路交通円滑化対策会議」の設置をはじめとした関係者間の連携体制の構築
- 夢洲周辺における混雑ポイントや時間帯などの交通特性を把握

■ 取り組みの成果



- AIカメラ等により道路交通のモニタリング・分析・予測を実施し、全ての時間帯・ルートで容量内に収まっていることを確認。夢洲周辺における混雑ポイントや時間帯などの交通特性について把握することができた。
- 各事業の工夫により、交通量の状況に関わらず、予め期間を決め追加的対策Aを実施したが、交通容量を超過する見込みがなかったため、追加的対策Bは実施せず。
- 対策会議の設置により、来場者輸送情報センターを含む関係者間と万博交通・道路交通情報を共有し合い、緊急時の迅速な対応につなげた。

■ 今後の活用について

- 今回実施したAIカメラやライブカメラなどのモニタリング技術、迅速な情報共有を目的とした連携体制の構築、夢洲周辺の交通特性については、今後の夢洲の開発においても活用が期待できる。



・ライブカメラの映像（夢洲南高架橋の通行状況）

◆大阪市道路交通円滑化対策会議開催実績

